

途上国での活動紹介

AMDA
社会開発機構
岡山で初報告会

発展途上国の生活環境改善に取り組むAMDA社会開発機構（岡山）は12日、支援活動を行う5カ国の状況を説明する初の報告会

者が出席。妊産婦の死亡率が高いホンジュラス担当の山田留美子

んは、病院での出産や出産前後の健診の重要性を訴えていることを

いることを説明した。

同社会開発機構は、AMDAグループの中で、発展途上国で中長



発展途上国の現状や支援について説明した現地担当者ら

紹介。HI V感染者が多く、結核の罹患率も高いザンビアの大谷聡さんは、地域ボランティアと医療従事者が一緒に働く仕組みをつくり、医療体制を整えて

松本千穂さんは、農業だけで生計が立てられず、単身で海外へ出稼ぎに行く人が多いと指摘しながら「農業支援は、現地の人が家族と過ごせるために行う幸せへのサポートと思っている」と話した。

市民ら約70人が聴講した。途上国支援に取り組む通販大手フェリシモ（神戸市）の吉川公二広報部長による講演もあった。

（水嶋佑香）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。